

精神医学概論 (Introduction to Psychiatry)					担当教員											
					非常勤講師	川勝 一雄										
<table border="1"> <tr> <th>科目群</th> <th>開講期</th> <th>授業形態</th> <th>単位数</th> <th>必修等</th> </tr> <tr> <td>薬学専門教育(講義)</td> <td>6年次 前期</td> <td>講義</td> <td>1単位</td> <td>選択</td> </tr> </table>					科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	薬学専門教育(講義)	6年次 前期	講義	1単位	選択	非常勤講師	挟間 雅章
					科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等							
薬学専門教育(講義)	6年次 前期	講義	1単位	選択												
					非常勤講師	藤原 広臨										
					非常勤講師	義村 さや香										

【概要】

本講義は計8回（精神科医より6回、薬剤師より2回）行う予定である。初回の講義で精神科の症候学、診断学、治療学などを概説し、精神医学の全体像を示す。その後の4回の講義では、薬学部生に対する講義であることを考慮して、主要な精神疾患について薬物療法に重点を置いて解説する。後半3回の講義では、精神科における薬物療法の実践について解説する。

【授業の一般目標】

精神医学の概略を理解する。精神科治療における薬物療法の位置づけを把握する。向精神薬に関する知識とその使い方を習得する。

【準備学習(予習・復習)】

講義の前後に、下記の参考書の該当箇所を、講義1回あたり2時間程度読むこと。また、精神疾患に対する理解を深めるため、精神科に関連した映画を観賞することも推奨する。

例：「ビューティフル・マインド」、「シャイン」（統合失調症）、「ツレがうつになりまして」（うつ病）、「レインマン」（自閉症）、「明日の記憶」（認知症）、「酔いがさめたら、うちに帰ろう」（アルコール依存症）など。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	精神医学総論	藤原	精神医学の全体像をつかみ、社会的意義を理解する。	
2	精神疾患（1）	藤原	抗うつ薬や抗不安薬・睡眠薬が適応となるうつ病、不安障害、不眠症について説明できる。	
3	精神疾患（2）	藤原	気分安定薬が適応となる双極性感情障害や、抗認知症薬が適応となる認知症について説明できる。	
4	精神疾患（3）	挟間	抗精神病薬が適応となる統合失調症やせん妄について説明できる。	
5	精神疾患（4）	義村	発達障害について説明できる。	
6	薬物療法の実践（1）	川勝	統合失調症を例に、薬物療法の適正化について説明できる。	
7	薬物療法の実践（2）	川勝	精神科の入院患者における内服管理の方法・工夫について説明できる。	
8	薬物療法の実践（3）	挟間	精神科の外来患者における内服管理の方法・工夫について説明できる。	

(書名)	(著者・編者)	(発行所)
教科書 なし		
参考書 標準精神医学 こころの治療薬ハンドブック	野村総一郎・樋口輝彦・尾崎紀夫 青葉安里・諸川由実代	医学書院 星和書店

【成績評価方法・基準】

定期試験100%で評価する。

【評価のフィードバック】

講評は、合格発表日に掲示にて公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

教務課にその旨申し出ること。